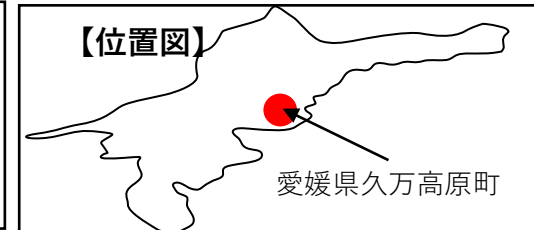


大玉トマトの研修圃場整備による担い手育成と地域振興

久万高原町は四国山地の中腹に位置し、標高300m～1,000mの中山間地域、平均気温12.6℃、年間降水量1,900ミリであり、冷涼な気候で昼夜の寒暖差があり、豊富な水源を有していることから、トマト、ピーマン等の高原野菜、水稻の栽培が盛んである。

これまで懸命な努力で夏秋野菜産地が培われたが、農業者の高齢化により産地維持や優良農地保全が懸念される中、担い手育成と農村資源を活用した地域振興を目的に久万農業公園を整備している。

【位置図】



愛媛県久万高原町

取組前

久万農業公園での就農研修では、毎年3～4名の研修生を受け入れ、2年目の研修生と合わせて6名が研修圃場で大玉トマトの実践栽培を行っている。例年、募集人数を超える多くの募集があり、事前研修や面接等を行ったうえで、研修生を採用しているが、高齢化が進む当町においては、一人でも多くの優秀な担い手の育成が必要な状況にある。

今後の研修受け入れ計画及び研修生への更なる指導の充実強化を図るため、久万農業公園がある下畑野川地区での研修圃場の新設が必要である。

取組内容

所在地 上浮穴郡久万高原町

下畑野川甲745番地

事業内容 研修圃場の整備

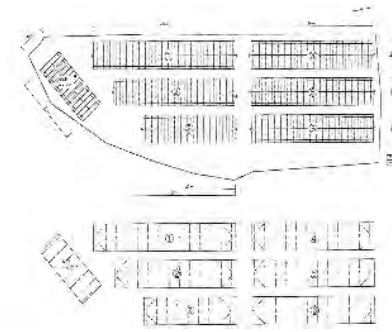
面積：2,701㎡（地籍）

21,729㎡（水張）

整備内容

パイプハウス：1,032㎡

養液土耕装置：一式



取組後(成果)

研修生受入れ人数

R3：3人、R4：4人、

R5：3人、R6：2人、

R7：3人、R8：3人

研修修了後の町内就農状況

R3：2人、R4：4人、

R5：3人、R6：2人

これまでの研修生受入れ状況
(H10～R7年度累計) 67人

内訳：町内16人、県内30人
県外21人



【サポート体制】

久万高原農業公社内には、町、公社、農協、県で組織される久万高原営農支援センターが整備されており、各機関の指導者が研修生及び卒業生（就農者）の指導にあっている。

指導の内訳は、町職員（営農支援センター長）1名（公社常駐）、公社職員（常勤）1名、公社臨時職員1名、農協職員1名（公社常駐）であるが、県農業指導班、町農業戦略課、松山市農協の職員も現地指導及び各種研修等を実施。

新規就農者や研修生の声

2年間の研修で、トマト栽培の基礎、ハウス建設のノウハウ等を習得できた。指導を仰いだり失敗から反省したりして、考えながら作業効率化や作物の観察に取り組んでいる。研修後就農してからも、さらなる研鑽に努め、安定した農業経営を行いたい。

サポート体制構築事業 活用年度：令和5年度

【問合せ先】 公益社団法人久万高原農業公社

TEL：0892-41-0040

E-mail：aguri@kumakogen.jp

HP：www.kumakogen.jp/site/agripia/